

福岡造船グループ※の事業基盤強化計画(抜粋)

※福岡造船(株)、(株)臼杵造船所

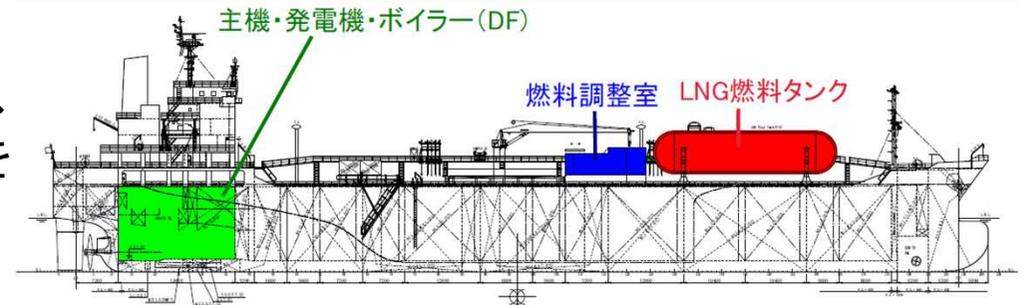
企業概要

- 福岡造船グループは、主力とするステンレスケミカルタンカーをはじめ、フェリー、セメント運搬船、油槽船などの多種多様な船舶を建造している。
- 平成30年に臼杵造船所がグループに加わって以降、事業規模拡大による生産コスト低減や、技術交流といった相乗効果の発揮を推進している。
- 今後は、他社に先駆けた環境対応船の開発による差別化や、両社一体的な運用による柔軟性を持った受注戦略の構築を目指す。



計画の概要

- 地球環境にやさしい船舶への需要に対応するため、日本初となるLNG燃料ステンレスケミカルタンカーを開発し、低・脱炭素燃料への転換を進めていく。



- 高性能クレーンの新設等を行い、事業所間の建造能力差を平準化するとともに、各拠点の船体ブロック重量を共通化することで、高い生産性と柔軟な受注戦略を併せ持った福岡造船本社工場(福岡)、長崎工場、臼杵造船所(大分)の3工場体制を構築する。

<計画実施期間> 2021年11月～2026年3月

<実施場所> 福岡造船(株) 本社工場(福岡県福岡市)、長崎工場(長崎県長崎市)
(株)臼杵造船所 (大分県臼杵市)